

小説

『パイルドライバー』

長崎 尚志 著

神奈川の閑静な住宅街で起きた一家惨殺事件。15年前の未解決事件と同じく遺体にはピエロの化粧が施されていた。これは模倣犯によるものなのか？現場に向かう中戸川俊介なかとがわしゅんすけの元に“杭打ち機”パイルドライバーの異名をとり、15年前の事件を捜査していた元刑事・久井重吾くいじゅうごがアドバイザーとして現れる。

小説

『雨降る森の犬』

馳 星周 著

父親を病で失い、母親との確執を抱えた中学生の雨音あまねは不登校になり、ログハウスに愛犬ワルテルと共に住む、山岳写真家の伯父・道夫のもとに身を寄せた。ある日、雨音は近くの別荘の持ち主の長男で高校生の正樹と知り合う。正樹も再婚した父親と若い母親に対して、複雑な感情を抱えていた。山の自然と犬が二人に与えるものとは。

小説

『星空の16進数』

逸木 裕 著

ウェブデザイナーとして働く17歳の藍葉あいはの元に、届け物を依頼されたという私立探偵のみどりが現れ、「以前は、大変なご迷惑をおかけしました」という伝言と100万円を渡される。幼い頃に誘拐されたことしか心当たりあかりのない藍葉は、みどりに事件の犯人・朱里の捜索を依頼する。みどりは自身の好奇心から朱里の捜索を始め、藍葉は誘拐された時に見た“混沌とした色彩の壁”の再現を試みる。

小説

『しない』

群 ようこ 著

デビューから30数年、今回のエッセイは頑張りすぎない群ようこ流取捨選択を提案する。通販で買わない、携帯電話を持たない、結婚しない、女性誌は読まない、不要な付き合いはしない、カフェインは摂らないなど、自分なりにみつけた「しないこと」を紹介。ラクにここちよい、毎日を生きるヒントがここにあります。

小説

『絵金、闇を塗る』

木下 昌輝 著

江戸末期に土佐に生まれ、幼い頃より絵の才能を発揮し、狩野派の技法を信じがたい短期間で修めた天才絵師、通称“絵金”。免許皆伝を得て帰郷し、土佐藩家老お抱え絵師となるも、ある事件により追放される。市川團十郎や武市半平太など、絵画の魔力に人生を左右された男の生き様から、絵金の底知れぬ人物像が浮かびあがる時代小説。

趣味 実用

『イスラム流幸せな生き方』

世界でいちばんシンプルな暮らし』

常見 藤代 著

著者がイスラムの人々を撮り続けて20年。イスラム圏で生活して知った、世界でイスラム教徒が増え続ける理由、厳格そうで、実は寛容なイスラム教。自分の働き方や暮らし方が本意だと感じるなら、生き生きとしたイスラムの人々からなにかを見出せるかもしれません。

趣味 実用

『不便ですてきな江戸の町』

時空を超えて江戸暮らし』

永井 義男 著

「江戸は豊かで、自由で、清潔だった」というような江戸を美化する傾向が目立つ昨今の江戸ブーム。江戸の風俗学者の著者が衣食住・衛生観念など、江戸の暮らしはいったいどんなものだったのか、紙上で江戸時代にタイムトラベル！その魅力と幻想を現代人の視点から読み解く、「江戸の天国と地獄」とは。

趣味 実用

『マサイのルカがスマホで井戸を掘る話』

ルカ サンテ&GO 羽鳥 著

マサイ族の青年ルカが、マサイ族の井戸を治すためにスマホで綴った「マサイ通信」が書籍化！壊れた井戸を直す資金を稼ぐため、マサイの生活、文化、食事、戦い、ファッションに恋愛に結婚などリアルなマサイをたくさん写真とともにお伝えします。

趣味 実用

『浸して漬けて「作りおき」』

今泉 久美 著

肉はしっかりと味がしみて、魚はさっぱりと食べられる。野菜料理があれば食卓が華やかに…食べるときにスパイスや香味野菜をプラスしてアレンジも無限に広がる、調味液に“浸して漬ける”作りおきにするからこそおいしい「作りおき」のレシピを紹介します。

趣味 実用

『物語を忘れた外国語』

黒田 龍之助 著

小説や映画と一緒になら、語学はもっと面白い！何のために英語を学ぶのか？試験や資格のための勉強では見えてこない、外国語習得の秘訣、大公開！語学学習で大切なのは、TOEICでも問題集を何週もすることでもない、外国語学習の秘訣を“外国語”の専門家である著者が教えます。